



学友支援 ニュース・レター 特別号 No.99

発行：金沢大学学友支援室 2019年11月12日
TEL：076-264-5081 mail：gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp
ホームページ：http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/index.html

第13回ホームカミングデイを開催

令和元年10月26日(土)、紅葉の金沢大学角間キャンパスにて、第13回金沢大学ホームカミングデイが開催されました。

歓迎式典には215名、懇親交流会には183名の卒業生及びそのご家族等にご出席いただき、同級生の再会等で大変盛況で賑やかな一日になりました。歓迎式典は、金沢大学合唱団及び出席者全員による校歌斉唱で始まりまして。



◆式典の様子

● 学長挨拶



◆挨拶を述べる山崎学長

金沢大学学長挨拶で山崎光悦(やまざきこうえつ)学長は、主な教育改革として、平成30年4月に3学域17学類へと改組し、観光や伝統資源、海洋生物資源に関する教育を充実させ、かつ国際社会で活躍できる人材、イノベーションを創出できる人材の育成を目指します。

研究面では、WPI(世界トップレベル研究拠点形成プログラム)ナノ生命科学研究所における研究体制を軌道に乗せ、さらには昨年8月ナノマテリアル研究所、本年6月には設計製造技術研究所を創設しました。

金沢大学基金では、卒業生の皆様からの多大なご寄附に対し謝意を示し、さらに引き続き、皆様のご理解とご支援をお願いしたい旨、挨拶がありました。

● 金沢大学の近況報告



◆近況報告する福森理事・副学長

福森 義宏(ふくもり よしひろ)理事(社会連携担当)・副学長から、「皆が頑張る、地域に愛され、世界に輝く大学へ」と題し、

- ①金沢大学の基本データ、
 - ②金沢大学の戦略、
 - ③新YAMAZAKIプラン2018、
 - ④金沢大学の改革と挑戦、
- について、本学の近況報告があった。

● 学生の留学体験報告・課外活動報告

- ★人間社会学域学校教育学類4年 田下 愛秋(たした あいか)
「私が見たポーランド」ポーランド ワルシャワ大学
- ★自然科学研究科機械科学専攻M2 長瀬 諒平(ながせ りょうへい)
「トロント留学体験談」カナダ トロント大学
- ◇ボート部：理工学域機械工学類3年
松林 燎平(まつばやし りょうへい)

*★留学体験報告者・◇課外活動報告者



◆報告する田下さん(左側)、長瀬さん(中央)、松林さん(右側)

● 学友会会長祝辞

来賓を代表して祝辞を述べられた山出 保(やま で たもつ)金沢大学学友会会長は、平成25年会長就任に際して、本学のステータスがどこにあるかに、関心があった。平成26年度にSGU、平成29年度にWPIに採用された。その前提として第3期運営費交付金の枠組みとして「重点支援3」を選択したことは本当に良かったと思う。



◆祝辞を述べる山出会長(法文学部・昭和29年卒業)

私事であるが、9月に附属病院に入院した。院内は医師・看護師等いきいきと働いていた。これは大学運営にも通じるものがあり、学長の命に沿って、構成員全員がスクラムを組み「ワンチーム」で頑張ってほしいとの激励の言葉を贈られました。

● キャンパス見学会を実施

10月26日(土)の午前中に、昨年に引き続きキャンパス見学会4コース(①旧城内、②医学、③人間社会学域、④理工学域)を開催しました。

総勢約70名の方が参加され、青春を謳歌したキャンパス、勉学に励んだ場所や他学部の研究室等を興味深く見ていました。

● 特別講演

ファイザー株式会社代表取締役社長 原田 明久(はらだ あきひさ)氏から、

「“Own It” 行動せよ ～明日のために、今、できること～」と題し、ご講演をいただきました。

講演では、メディカルドクター(製薬会社内で働く医師)の役割とファイザー株式会社の企業目的、そしてそれを達成するために全社をあげて対応している内容について、詳しく説明があり、この考え方と行動規範は、金沢大学の今後のあるべき姿に通ずるものがありました。

ファイザー株式会社は研究開発型製薬企業であるため、新薬を開発・販売しないと企業として成り立っていきません。そのために、企業目的(患者さんの生活を大きく変えるブレイクスルーを生み出す)を達成するために、「果敢な取組」「価値観と行動」を社内に浸透させる必要があります。

企業にとって今まさに必要なことは、変化(不安・不確実・複雑・曖昧)への対応力であり、個人レベルでは、1人1人が強い情熱と責任感を持つことにあります。例えば、仕事の考え方をリーダーが示し、職員は自ら考え、自ら行動することが大事、つまり、個人プレーよりもチームワークでより高いゴールの成果を挙げる(野球型からラグビー・サッカー型への転換)ことであります。組織レベルでは、組織の中で立場を超えた協力体制が作れること、単なる集合体ではなく、目的を共有し結果を出せる組織であることが挙げられます。そのため会社では、①対話集会(役員と職員)の実施、②組織の透明性確保、③1人1人の仕事の意味付け、この3点が今後重要になってくると話されました。



◆講演する 原田 明久 氏
ファイザー株式会社 代表取締役社長
(医学部医学科・昭和61年卒業)

● 第9回金沢大学学友会役員総会

第9回金沢大学学友会役員総会は、学友会役員の変更が行われ、次期学友会会長として山出 保 氏の再任が承認されました。山出会長は、次期学友会役員候補者の方々に、その職を委嘱する旨説明し、次期役員等が決定しました。

加納 重義(かのう しげよし)学友会代表理事からは、山出会長には学位記授与式にて祝辞(加納代表理事代読)をいただいたこと、入学宣誓式にご列席いただいたことが報告されました。

【学友会新役員(令和元年10月26日～令和3年10月25日)】

会 長	山出 保(法経文)		
副 会 長	安宅 建樹(法経文)、 中西 孝(理)、 國嶋 崇隆(薬)、 加納 重義(工)	金浦 修郎(教育) 中村 信一(医) 松原 孝祐(保健)	
代表理事	加納 重義(金沢大学副学長)		
理 事	鳥越 伸博(法経文)、 山本 政儀(理)、 松下 良(薬)、 千木 昌人(工)	澤野 等(教育) 土屋 弘行(医) 松崎 太郎(保健)	
監 事	東 実(教育)、 菅野 俊司(工)		



◆卒業生有志による校歌・寮歌の高唱

● 懇親交流会

歓迎式典後の懇親交流会は、山出会長の乾杯(日本酒:角間の里)発声により開会しました。会場では、本学卒業生である女性アマチュア木管アンサンブル「ナチュラル・クインテット」による開会前(曲目:水上の音楽よりホーンパイプ、ティコティコ)と乾杯後(曲目:演歌メドレー等)の演奏があり、懇親交流会が華やぎ大いに盛り上りました。

その後、恒例の揃いの法被に身を包んだ同窓生有志による「金沢大学校歌」「北の都」「南下軍の歌」の高唱があり、ボルテージは最高潮に達しました。

最後に、加納副学長から、締めめの挨拶があり、万歳三唱で終了しました。



◆加納副学長による
閉会の挨拶



◆ナチュラル・クインテットによる演奏

- 大学が業者にも名簿作成を依頼することはありません。電話等による勧誘には十分ご注意ください。
- 地域・職域・サークル・寮等の同窓会活動の近況や総会・懇親会等の開催日程、開催報告等を「学友支援ニュース・レター」に掲載ご希望の場合は、学友支援室までご連絡ください。